

# Arcserve アプライアンス 10012BU-10048BU サーバ設置ガイド

Arcserve Unified Data Protection

バージョン 10.x

arcserve®

## リーガル ノーティス

組み込みのヘルプシステムおよび電子的に配布される資料も含めたこのドキュメント(以下「本書」)はお客様への情報提供のみを目的としたもので、Arcserveにより随時、変更または撤回されることがあります。このドキュメントは、Arcserveの専有情報であり、Arcserveの事前の書面による承諾なしに、全部または一部をコピー、譲渡、複製、開示、変更、複写することを禁止します。

本ドキュメントで言及されているソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内ユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを適切な部数だけ作成できます。ただし、Arcserveのすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本書を印刷するかまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、そのライセンスが終了した場合には、ユーザはArcserveに本書の全部または一部を複製したコピーをArcserveに返却したか、または破棄したことを文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、ARCSERVEは本書を現状有姿のまま提供し、商品性、お客様の使用目的に対する適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。また、本システムの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の損失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、ARCSERVEはお客様または第三者に対し責任を負いません。ARCSERVEがかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本書に記載されたソフトウェア製品は、該当するライセンス契約書に従い使用されるものであり、当該ライセンス契約書はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者はArcserveです。

「制限された権利」のもとでの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14、52.227-19(c)(1) - (2)、DFARS Section 252.227-7014(b)(3)、またはこれらの後継の条項で規定されている該当する制限に従うものとします。

© 2025 Arcserve (その関連会社および子会社を含む) All rights reserved. サードパーティの商標または著作権は各所有者に帰属します。

## Arcserve アプライアンスの返品ポリシー

Arcserve 製品を返品するには、[orders@arcserve.com](mailto:orders@arcserve.com) までご連絡ください。Arcserve 注文管理チームが、RMA ( Return Material Authorization) 番号を生成し、RMA データの送信先に関するガイダンスを提供します。

返品には、10% の返品手数料がかかります。以下は例外となります。1) 注文が間違っ​​て履行された場合、Arcserve は RMA を受け入れ、全額を返金します。2) 欠陥のあるアイテムが 30 日以内に返品された場合、Arcserve は RMA を受け入れ、全額を返金します。3) ハードウェアに技術的な問題がある場合、解決のための適切な期間を経過した後もサポートによって解決できなければ、Arcserve は RMA を受け入れ、同等の価値のあるハードウェアとの交換を提供します。

RMA リクエストに必要な情報：

- 製品のシリアル番号 ( アプライアンスの背面に記載があります)
- Arcserve 注文番号
- パートナーの連絡先名
- パートナーの電話番号
- パートナーの電子メールアドレス
- お客様の連絡先名 ( 可能な場合)
- 電話番号 ( 可能な場合)
- 電子メールアドレス ( 可能な場合)
- 問題の説明とすでに実行されたトラブルシューティングの説明。
- 要求された配送サービスおよび出荷先住所。

RMA 番号は、パッケージの外側に明確に記されている必要があります。すべての RMA は、適切な梱包で出荷される必要があります。すべての RMA は、荷物のトラッキングおよび保証を提供する信頼できる運送業者を使用して出荷する必要があります。出荷時の破損または RMA の損失はお客様の責任になります。

---

## 目次

---

<b>第1章: 概要</b> .....	<b>1</b>
<b>第2章: システムの開梱</b> .....	<b>2</b>
<b>第3章: セットアップの準備</b> .....	<b>3</b>
セットアップ場所の選択 .....	4
ラックに関する注意事項 .....	5
サーバに関する注意事項 .....	6
ラックマウントに関する考慮事項 .....	7
<b>第4章: レールの取り付け</b> .....	<b>9</b>
レールの識別 .....	10
<b>第5章: ラックへのシャーシの設置</b> .....	<b>13</b>
<b>第6章: ラックからのシャーシの取り外し</b> .....	<b>15</b>

## Arcserve サポートへのお問い合わせ

Arcserve サポート チームは、技術的な問題を解決する際に役立つ豊富なリソースセットを提供し、重要な製品情報にも容易にアクセスできます。

### [サポートへのお問い合わせ](#)

Arcserve サポートをご利用いただくと次のことができます。

- Arcserve サポート の専門家が社内で共有しているのと同じ情報ライブラリに直接アクセスできます。このサイトから、弊社のナレッジ ベース( KB) ドキュメントにアクセスできます。ここから、重要な問題やよくあるトラブルについて、製品関連 KB 技術情報を簡単に検索し、検証済みのソリューションを見つけることができます。
- ライブ チャット リンクを使用して、Arcserve サポート チームと瞬時にリアルタイムで会話を始めることができます。ライブ チャットでは、製品にアクセスしたまま、懸念事項や質問に対する回答を即座に得ることができます。
- Arcserve グローバルユーザコミュニティでは、質疑応答、ヒントの共有、ベストプラクティスに関する議論、他のユーザとの対話に参加できます。
- サポート チケットを開くことができます。オンラインでサポート チケットを開くと、質問の対象製品を専門とする担当者から直接、コールバックを受けられます。
- また、使用している Arcserve 製品に適したその他の有用なリソースにアクセスできます。



---

## 第1章: 概要

この章では、サーバラックにシステムをマウントする際のアドバイスと手順について説明します。

**重要:** ESD ( Electrostatic Discharge、静電放電) は、電子部品に損傷を与えるおそれがあります。このような PCB ( プリント回路基板) の損傷を防ぐには、接地されたリストストラップを使用し、すべての PCB は端を持って扱い、使用しないときは静電気防止バッグに入れておくことが重要です。

---

## 第2章: システムの開梱

Arcserve 10k サーバが梱包されていた箱を調べ、何らかの損傷がないかどうかを確認します。機器に損傷が見られる場合は、その機器の配送業者に損害賠償請求を行ってください。

サーバを格納するラックユニットの適切な場所を決定します。よく換気され、清潔かつ無塵の場所に設置する必要があります。熱、電氣的ノイズ、電磁場が生じる場所は避けてください。また、近くに接地されたAC電源コンセントが必要です。

---

## 第3章: セットアップの準備

システムが梱包されていた箱には、システムをラックに設置するために必要なラックマウントハードウェアが入っています。設置を開始する前に、このセクション全体をお読みください。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

<a href="#">セットアップ場所の選択</a> .....	4
<a href="#">ラックに関する注意事項</a> .....	5
<a href="#">サーバに関する注意事項</a> .....	6
<a href="#">ラックマウントに関する考慮事項</a> .....	7

## セットアップ場所の選択

- システムは、よく換気され、清潔かつ無塵の場所に配置する必要があります。熱、電氣的ノイズ、電磁場が生じる場所は避けてください。
- ラックの前面には十分なスペースを空けて(約 25 インチ( 64 cm) )、前面ドアを完全に開くことができるようにします。また、ラックの背面には約 30 インチ( 76 cm) のスペースを空けて、十分なエアフローを確保し、保守作業時にアクセスできるようにします。
- 本製品は、必ず立ち入り制限区域( 専用の機器室、サービスクローゼットなど) に設置する必要があります。
- 本製品は、ドイツの Ordinance for Work with Visual Display Units ( 視覚表示装置を使用する作業規則) の第 2 条により、視覚表示作業用デバイスでの使用には適していません。

## ラックに関する注意事項

- ラックの最下部にあるレベリング ジャッキが床まで達していて、ラックの全重量がジャッキにかかっていることを確認してください。
- 1つのラックを設置する場合は、スタビライザをラックに取り付ける必要があります。複数のラックを設置する場合は、ラックを互いに連結する必要があります。
- ラックからサーバまたはその他のコンポーネントを引き出す前に、ラックが安定していることを必ず確認してください。
- 一度に1つのサーバまたはコンポーネントのみを引き出してください。2つ以上を同時に引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。

## サーバに関する注意事項

- レールを設置する前に、ラック内の各コンポーネントの配置を決定します。
- 最初に最も重いサーバコンポーネントをラックの一番下に設置してから、上に向かって作業を進めます。
- 無停電電源装置 (UPS) を使用して、電力サージや電圧スパイクからサーバを保護し、停電が発生してもシステムが稼働し続けるようにします。
- ドライブおよび電源モジュールは、十分に冷えてから触るようにします。
- 保守作業を行っていない間は、ラックの前面ドアとサーバのすべてのカバー/パネルを閉じて、適切に冷却されるようにしてください。

## ラック マウントに関する考慮事項

### 稼働時の周囲の温度

クローズ式またはマルチ ユニット 用のラック アセンブリに設置する場合、ラック環境における稼働時の周囲の温度が室温より高くなる場合があります。そのため、製造元が定めた最高許容周囲温度 (TMRA) に適合する環境に機器を設置することを検討してください。

### エアフロー

安全な操作に必要なエアフローの量が損なわれないように、機器をラックにマウントする必要があります。

### 機械的負荷

不均一な機械的負荷によって危険な状態が生じないように、機器をラックにマウントする必要があります。

### 回路の過負荷

機器を電源回路に接続する場合は注意が必要です。また、回路の過負荷が発生したときに電流の過負荷保護および電源の配線に与える影響についても考慮する必要があります。この点に関する懸念を取り除くには、機器の銘板に示されている定格を参考にして検討します。

### 確実な接地

確実な接地を常に確保する必要があります。このためには、ラック自体を接地する必要があります。分岐回路に直接接続しない電源接続 (電源タップを使用する場合など) には特に注意を払う必要があります。

**警告:** この機器をラックにマウントする場合や、ラック内の機器の保守作業を行う場合は、けがを防ぐために、特別な注意を払ってシステムが安定して設置されていることを確認する必要があります。安全を確保するため、以下のガイドラインに従ってください。

- この機器がラック内の唯一の機器である場合は、ラックの一番下にマウントする必要があります。
- 部分的に埋まっているラックにこの機器をマウントする場合は、最も重いコンポーネントをラックの一番下に設置して、下から順番にマウントしていきま
- ラックにスタビライザが付属している場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに機器をマウントするかラック内の機器の保守作業を行います。
- スライド レールにマウント済みの機器を、棚や作業場所として使用しないでください。



---

## 第4章: レールの取り付け

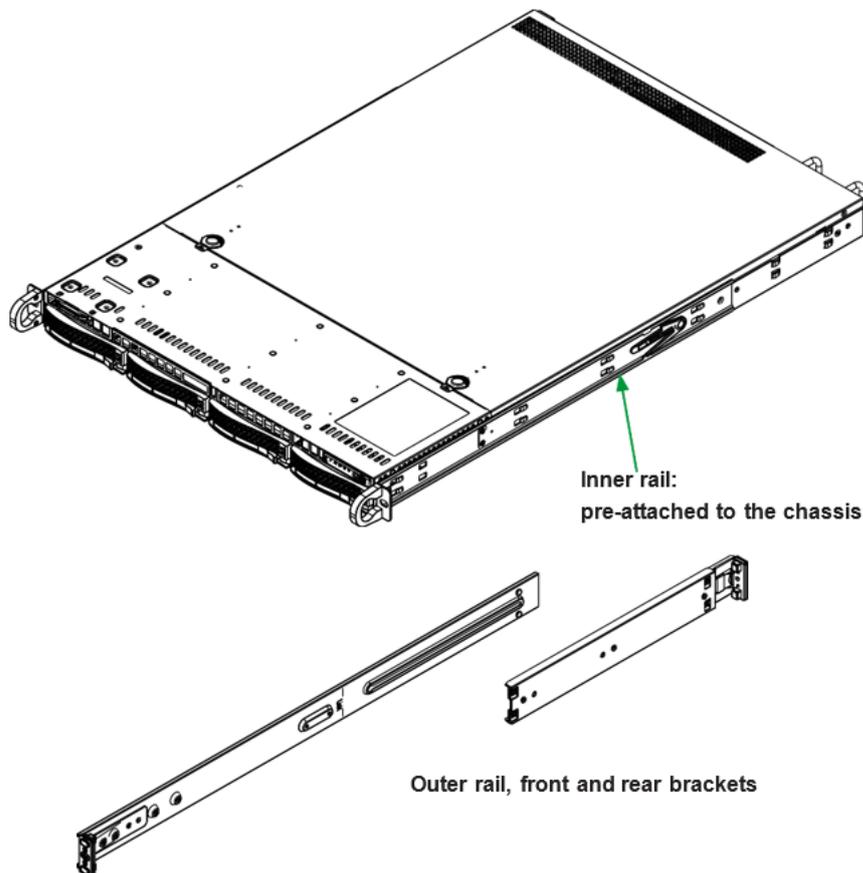
市場にはさまざまなラックユニットがあり、組み立て手順が若干異なる場合があります。このレールセットは、奥行き 25.6 ~ 33 インチ( 65 ~ 83.8 センチ) のラックに適合します。

ラック マウント用ハードウェアを用意してシステムをラックに設置するための基本的なガイドラインを以下に示します。使用している特定のラックに付属の設置手順書も参照してください。

<a href="#">レールの識別</a> .....	10
------------------------------	----

## レールの識別

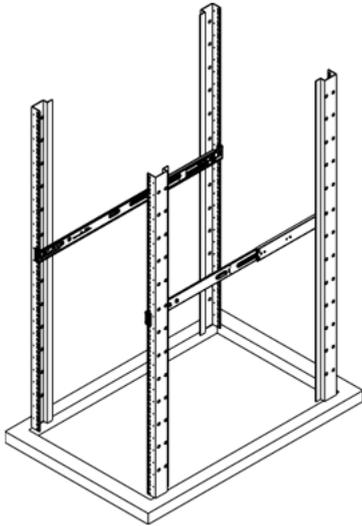
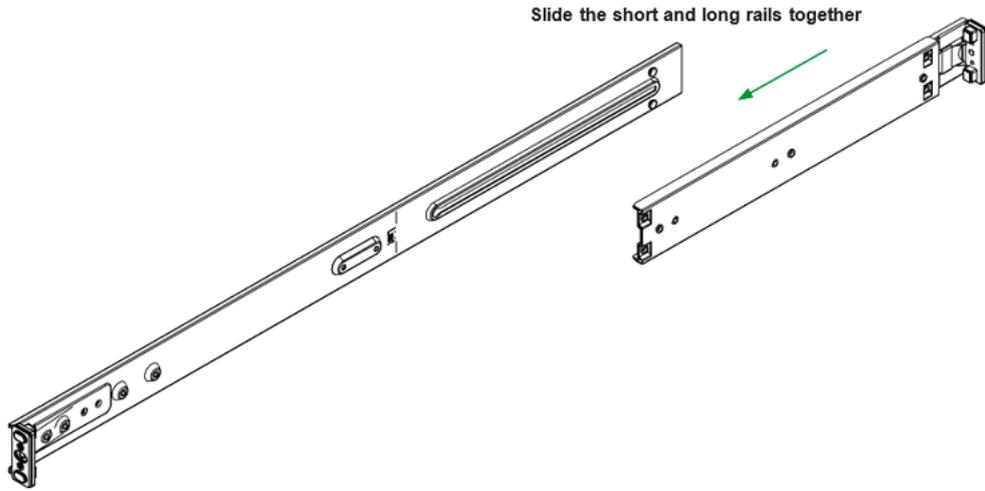
シャーシには、ラックレールが2セット付属しています。1つはシャーシの右側用で、もう1つは左側用です。各セットは、シャーシにあらかじめ取り付けられている内側レールと、ラックに取り付ける外側レールで構成されています。



**警告：**サーバは前面ハンドルで持ち上げないでください。これらのハンドルは、ラックからシステムを引き出すために作られています。

### 外側レールの取り付け

1. ラックの前面から背面までの距離を測定します。
2. 下記のように、短いレールと長いレールをスライドさせて、長いレールと短いレールを結合させます。
3. 短いレールと長いレールを調整して、ラックの前面から背面までの距離全体に達するようにします。
4. レールをネジでキャビネットに固定します。左側の外側レールについて、手順 1 ~ 4 を繰り返します。



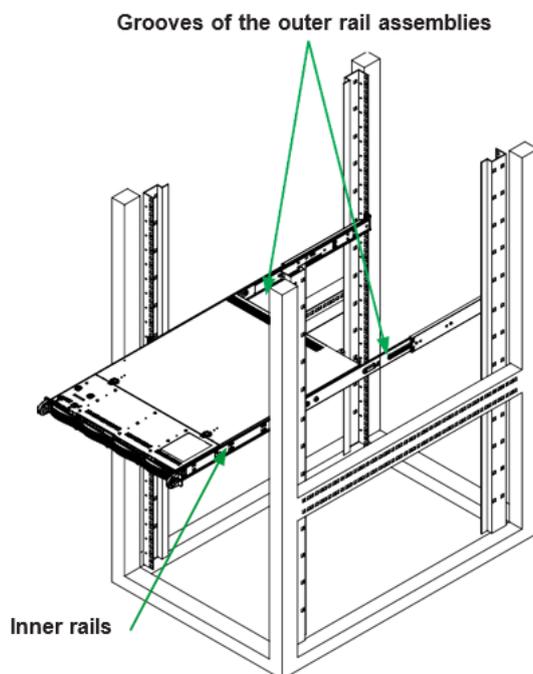


---

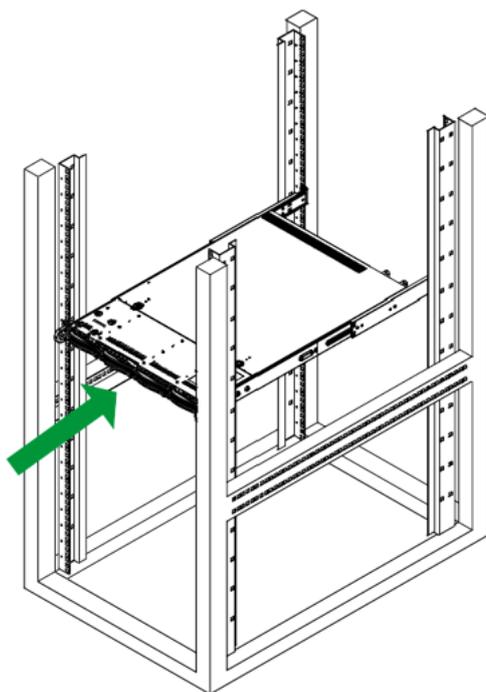
## 第5章: ラックへのシャーシの設置

シャーシとラックにレールを取り付けたら、シャーシをラックに設置できます。

1. 下記のように、シャーシに取り付けられている内側レールを、ラックに取り付けられている外側スライド アセンブリの溝に押し込みます。



2. シャーシが完全にラックに収まるまで、シャーシ レールをラック レールに挿入します。



---

注：図は、説明のみを目的としています。最初は必ずラックの一番下にサーバを設置してください。

---

## 第6章: ラックからのシャーシの取り外し

**警告:** 重いシャーシを一人でラックから取り外すのは危険です。ラックからシャーシを取り外す際は、シャーシを支えるために十分なサポートが必要です。必要に応じて、リフトを使用してください。

1. シャーシが止まるまで、ラックの前面から引き出します。
2. 両方の内側レールのリリース ラッチを同時に押し下げ、シャーシを前方に引き出し、ラックから取り外します。

